

# 『子どもの権利条約と子ども虐待』 ～《授業》 保育・教職実践演習～

「保育・教職実践演習」は、保育士の資格や幼稚園教諭の免許を取得する学生を対象とする科目です。本学では一部2年生、三部3年生が、この科目を受講しています。

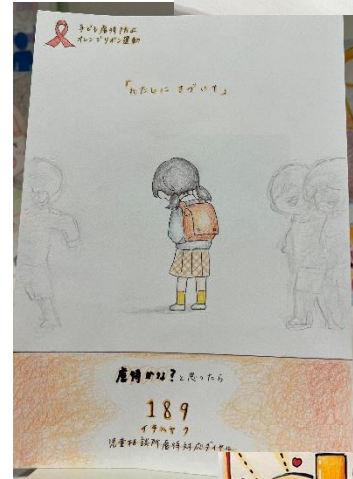
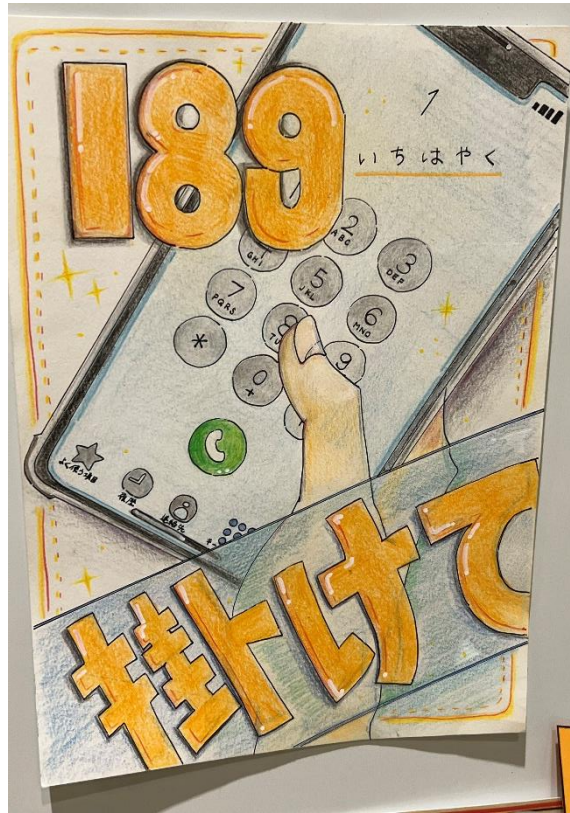
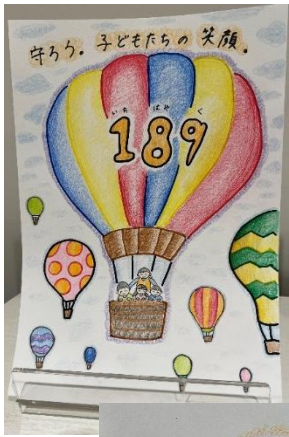
今回の授業では「子どもの多様性を理解し、支援を考えること」を目的に、グループでそれぞれの課題を決めて取り組みました。その成果を本学の図書館に掲示しました。



各グループ、テーマを決めて取り組みました！



子どもたちの幸せを願って「子ども虐待防止」啓発のチラシ作りをしました。



“保育学科”の学生、お薦め『子ども虐待に関する本』を紹介します。

『鬼畜』の家 ~わが子を殺す親たち~  
 新潮社・著:石井光太 2016.08

この本は、実際に起きた親が子どもを殺害した3つの虐待死の事件について平りあげて書かれています。わが子を殺害した親たちは近頃は理解を示す者もいるが、その親たちの背景を理解することなく「鬼畜」と呼ぶ者もいる。再発防止に努めるため、子どもだけでなく、その親にどのような背景があったのかを知り、理解をし、その家庭への支援について考えることが大切だと感じました。ぜひ読んでみてください！

「ほくそくすいて」 ~子ども虐待から守るために~  
 文:才村純 絵:葉祥明

この本は、虐待の基礎知識から私たちにできること、子育てがうまくいかなかったらどう  
 大き3つに分けたタイトルが入っています。  
 虐待と知らない方も、少し興味があるという方も、この本で読めば「虐待について、  
 知ることが出来ます。大き3つのタイトルの中に「タイトル」があり、細かい内容  
 まで書いてあり、私も読みやすさと思える本として、授業でも教えていた内容  
 もあれば、少し出てきたけど全然知らなかった、と思っていたことも知ることが出来ます。  
 現在では、虐待がとこも増えています。少しは多くの方に虐待について知ってもらいた  
 んで、この本をぜひ読んでみてください。